

議会だより

9月定例会 No.49

平成29年11月29日

発行 石川県志賀町議会

ししか



富来地域に公営住宅を整備	2
平成28年度決算の審査	4
体育施設の改修計画は (一般質問)	9
議会運営委員会研修レポート	14
グループ紹介 志賀町ホッケー教室	18

元プロ野球選手の 指導に感激

仁志敏久さん
野球クリニックin志賀町

を整備

9月 定例会

9月定例会は、9月26日から10月16日までの21日間の会期で開かれ、決算の認定、補正予算、条例改正、契約案件の議案をはじめ、人事案件、議会議案、請願など、合わせて52件を審議しました。

契約

工事契約3件を可決



(仮称) ますほ住宅
の完成予定図

(仮称) ますほ住宅 単身者棟建築工事

6521万円

工事内容：とぎサイクリングターミナル跡地に
単身者用の公営住宅を建設します。

工 期：平成30年5月31日

契約業者：寺井建設(株)



志賀中学校空調設備工事

6084万円

工事内容：空調機器の機能を強化します。

工 期：平成30年3月30日

契約業者：アムズ(株)



旧西浦小学校解体工事

2862万円

工事内容：体育館を残し校舎棟を解体します。

工 期：平成30年3月30日

契約業者：大和建设(株)

富来地域に公営住宅

決算
認定

平成28年度の決算を認定

会計名		歳入額	歳出額	差引残額	
一般会計		152億9792万円	150億8341万円	2億1451万円	
特別 ・ 企業 会計	国民健康保険	29億6355万円	29億5573万円	782万円	
	後期高齢者医療	3億1517万円	3億1449万円	68万円	
	農業集落排水事業	4億7122万円	4億7122万円	※0円	
	公共下水道事業	7億7775万円	7億7775万円	※0円	
	地域し尿処理整備事業	9225万円	9225万円	※0円	
	簡易水道事業	1286万円	1286万円	※0円	
	介護保険	27億1279万円	27億1007万円	272万円	
	診療所事業	1億8751万円	1億8083万円	668万円	
	ケーブルテレビ事業	4億5106万円	4億5106万円	※0円	
	水道	収益的収支(税抜)	6億6117万円	5億1213万円	1億4904万円
		資本的収支(税込)	9724万円	3億6168万円	△2億6444万円
	病院	収益的収支(税抜)	12億9362万円	12億3959万円	5403万円
		資本的収支(税込)	1億8133万円	2億8211万円	△1億78万円

※農業集落排水事業、公共下水道事業、地域し尿処理整備事業、簡易水道事業、ケーブルテレビ事業については、一般会計から資金を補てんすることによって、赤字を解消しています。

補正
予算

平成29年度の補正予算を可決

会計名		補正額	予算額	
一般会計		6億6191万円	128億9241万円	
特別 ・ 企業 会計	国民健康保険	848万円	29億5472万円	
	後期高齢者医療	108万円	3億1375万円	
	農業集落排水事業	63万円	4億9894万円	
	公共下水道事業	807万円	7億3325万円	
	地域し尿処理整備事業	1185万円	7413万円	
	介護保険	△115万円	29億7580万円	
	診療所事業	668万円	1億8148万円	
	ケーブルテレビ事業	1015万円	4億8150万円	
	水道	収益的支出(税抜)	38万円	5億8905万円
		資本的支出(税込)	△285万円	4億227万円

一般会計では、人事異動による職員給与費の補正をはじめ、タウンミーティングで要望のあった各事業費や豪雨災害による災害復旧事業費の追加、衆議院の解散による選挙費などを補正しました。

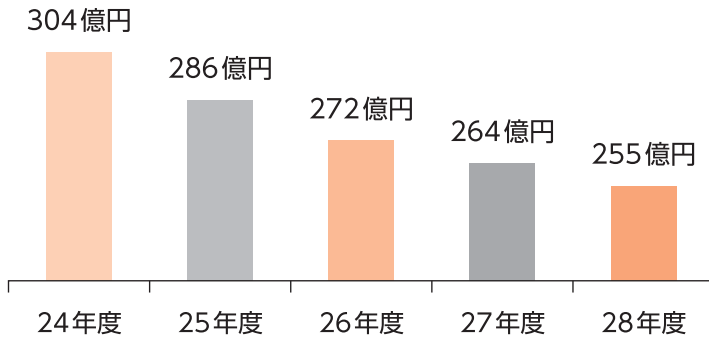
特別・企業会計では、各種事業にともなう所要額を補正しました。

予算決算常任委員会

委員長 南 正紀
副委員長 寺井 強

委員は、議長をのぞく全議員です。

【志賀町の町債（借入金）残高の推移】



財政は健全

地方自治体は、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために財政指標を算定しています。

志賀町の指標は、国基準を大きく下回っており、健全な財政状況を維持していますが、今後は厳しい財政状況が想定されるため、さらなる財政管理が必要になります。

【志賀町の財政指標】

指標名		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
		財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	財政規模に対する全会計の赤字の割合	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	財政規模に対する将来町が支払う借入金返済額等の割合
志賀町		(赤字なし)	(赤字なし)	11.4%	4.0%
国基準	早期健全化基準	13.48%	18.48%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	—

一般会計

地域おこし協力隊の成果は

質疑 町の観光部門に地域おこし協力隊が1名配置されているが、その成果を知りたい。

答弁 活動内容としては、道の駅とぎ海街道や増穂浦リゾートエリアで特産品の発掘や地域資源を活かした交流人口拡大事業などの企画に従事している。3年契約で、今年が2年目となるが、できればこのまま志賀町に移住してほしい。

※地域おこし協力隊は、地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持強化を図る制度です。

放課後児童クラブの保育料を安く

質疑 放課後児童クラブの保育料は月額6千円だが、もう少し安くならないのか。

答弁 保育料は、県内自治体の状況を参考にしながら、計算して設定している。近隣の自治体と比べて高いわけではないが、今後の状況を見ながら検討していきたい。

臨時福祉給付金の申請をうながせ

質疑 臨時福祉給付金の支給率が75%となっているが広報しているのか。

答弁 広報誌やケーブルテレビなどで宣伝して周知を図っている。

特別・企業会計

病院職員の健診は 富来病院ですべき

質疑 町職員の健康診断は町外の業者に委託しているが、せめて富来病院の職員は自分たちの病院で受診すべき。

答弁 富来病院で健診できないか検討したい。また、乳がん検診で使用するマンモグラフィの導入も検討したい。

富来病院のPRを

質疑 富来病院の特徴をもっとPRすべき。

答弁 内科では、8月から午後診療を始めており、もっとPRしていきたい。整形外科では、スポーツ外来の設置を検討している。

適正な滞納事務を

質疑 国保税の滞納者が多いが、他の税金と同じように適正な滞納事務を行っているのか。

答弁 他の税と同じように、催告書のあと、給与、預金などを差し押さえ、それを売却するなど、適正な滞納事務を行っている。



午後からの診療を始めた富来病院の内科外来

平成29年度 補正予算の審査

イノシシ被害 の対策をせよ

質疑 イノシシ被害を防ぐため、電気柵の設置に対する補助金の額を増やすことはできないか。

答弁 今年度はイノシシの捕獲数が急増しており、集落からの要望も増えている。補助金の額は、1年間に10万円を上限としているが、引き上げたいと考えている。

富来鉱山の開発を どう進めるのか

質疑 富来鉱山の開発にかかる調査費を補正することだが、どのように開発するつもりか。

答弁 現地調査をやってから方向性を決めたい。11月に行う石見銀山の視察も参考にしたい。



イノシシ被害に備え電気柵を設置



倒壊の恐れがある危険家屋（イメージ）

総務産業建設常任委員会

委員長	櫻井 俊一	委員	須磨 隆正
副委員長	堂下 健一	//	越後 敏明
委員	南 政夫	//	田中 正文
//	下池外巳造	//	富澤 軒康

危険家屋は町で撤去できるのか

質疑 危険な家屋があれば、町で強制撤去してくれるのか。

答弁 まず、所有者を特定し、指導、勧告、最終的に強制撤去となる。個人の財産は、所有者自らの責任で適切に管理することが原則なので、強制撤去については弁護士に相談しながら対応したい。

教育民生常任委員会

委員長	福田 晃悦	委員	寺井 強
副委員長	稲岡健太郎	//	林 一夫
委員	中谷 松助	//	戸坂忠寸計
//	南 正紀	//	久木 拓栄

介護保険条例の改正内容は

質疑 介護保険の調査については、虚偽の答弁をした場合に罰則が設けられている。

今回の条例改正では、第1号被保険者に加えて、第2号被保険者の配偶者や世帯員も罰則の対象になったが、その理由は、

答弁 通常、第1号被保険者が介護サービスを受けることができるが、第2号被保険者であってもサービスを受けている人もいることから、今回、罰則の対象になった。

※第1号被保険者は65歳以上の方です。
※第2号被保険者は40歳から64歳までの方で、特定の疾病が原因で要介護認定を受けたときに介護サービスを受けることができます。

人事

選挙管理委員を選出

選挙管理委員に 以下の4氏を選出しました。さらに補充員として4氏を選出しました。



寺井 功氏



山本 政直氏



堤谷 一博氏



岡田 信尚氏

【補充員】

- 第1順位 村井 直氏
- 第2順位 今村 浩一氏
- 第3順位 岡田 政行氏
- 第4順位 上滝 達哉氏

固定資産評価審査委員に 金谷昭一氏、北口顕照氏、土田善博氏を同意しました。

教育委員に 高野正人氏を同意しました。

議会議案を全会一致で可決

意見書を国へ提出

議案名	提出議員	議案の内容
道路整備に係る補助率等の 嵩上げ措置の継続を求める 意見書	田中正文	道路事業にかかる地域高規格道路や交付金事業の補助率の嵩上げは、平成29年度までの時限措置となっているが、引き続き、継続するよう求める。
大和堆で違法に操業する外国漁船の取締強化を求める 意見書	富澤軒康	大和堆において、漁船の安全確保に万全を期すとともに、毅然とした外交姿勢のもと、実効性のある強力な取り締まりを実施するよう求める。

請願

2件の請願が不採択に

賛成2 反対13

請願名	紹介議員	請願の内容
アメリカ、北朝鮮に対し直接対話を求める意見書の提出を求める請願	中谷松助	政府は、国民の生命や安全、地域と世界の平和を守るため、アメリカと北朝鮮に無条件での直接対話を強く働きかけるべき。
日本政府に対し、核兵器禁止条約に調印し、条約実現に努力するよう求める請願	中谷松助	政府は、核兵器全面禁止に背を向ける態度を直ちに改め、核兵器禁止条約に調印し、条約実現に真剣に努力するよう強く求める。

請願に対する 討論



アメリカ、北朝鮮に対し直接対話を求める意見書の提出を求める請願

日本政府に対し、核兵器禁止条約に調印し、条約実現に努力するよう求める請願

これに賛成
中谷松助議員
経済制裁の強化と一体に、憲法9条を持つ国として、アメリカと北朝鮮に無条件での直接対話を強く働きかけるべき。

これに反対
福田晃悦議員
本請願のように、対話のみによって、その目的が達せられるとは考えられず、賛同しかねる。

これに賛成
中谷松助議員
被爆体験を持つ国の政府として、核兵器禁止条約を当然支持し、その実現のために各国政府と協力して積極的に推進すべき。

これに反対
南正紀議員
核兵器保有国が参加していない現状で、本条約に参加しても意味がない。また、我が国が本条約に参加すれば、アメリカとの関係が悪くなることから、賛同しかねる。

【9月定例会】 主な議決結果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 21	専決処分の承認（29年度一般会計補正予算（第2号））…旧西浦小学校の解体撤去事業費の追加や、法人町民税で還付金が発生したことにより所要額を補正した。（3ページ参照）	承認 賛15 反0
議案 51~60	29年度一般会計補正予算（第4号）～29年度水道事業会計補正予算（第1号）…3ページ参照	可決 賛15 反0
61	空き家等の適正な管理に関する条例…空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定めるため新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
62	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正する条例…職員が除雪用車両による除雪作業に従事した場合に、特殊勤務手当を支給することができるよう改正を行う。	可決 賛15 反0
63	農村地域工業導入促進協議会条例の一部を改正する条例…関係法令の一部改正により、題名や関係条文の改正を行う。	可決 賛15 反0
64	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛15 反0
65	介護保険条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛15 反0
66	包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛15 反0
67	町営住宅管理条例の一部改正…関係法令の一部改正により、引用条項の改正を行う。	可決 賛15 反0
68	高齢者福祉住宅管理条例の一部改正…関係法令の一部改正により、引用条項の改正を行う。	可決 賛15 反0
69	下水道料金等の改定に伴う関係条例の整理に関する条例…平成30年度から下水道料金を改定することにより、関係する条例の整理を行う。	可決 賛14 反1
70	志賀町立小学校施設整備基金条例の廃止…志賀小学校の整備が完了したことから条例を廃止する。	可決 賛15 反0
71	町道路線の認定（町道第6089号新道線）…県営ほ場整備事業（酒見地区）の完了により、稲敷地内の道路を新たに町道認定する。	可決 賛15 反0
72	町道路線の変更（町道第316号堀松清水今江線）…米町川の河川改修で清水中橋を撤去したことにより、終点（清水今江地内）を変更する。	可決 賛15 反0
73~76	町道路線の変更（町道第6017号大坪線ほか3路線）…県営ほ場整備事業（酒見地区）の完了により、終点または起点（酒見地内）を変更する。	可決 賛15 反0
77	29年度一般会計補正予算（第3号）…3ページ参照	可決 賛15 反0
78~80	工事請負契約の締結「（仮称）ますほ住宅単身者棟建築工事」、「志賀中学校空調設備機能強化工事」、「旧西浦小学校解体撤去工事」…2ページ参照	可決 賛15 反0
81	財産の取得「スクールバス購入」…富来小学校と富来中学校のスクールバス2台を、(株)上杉モータースから1508万円で取得する。	可決 賛15 反0
認定 1	28年度一般会計歳入歳出決算認定…3ページ参照	認定 賛14 反1
2~12	28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定～28年度志賀町立富来病院事業会計決算認定…3ページ参照	認定 賛15 反0



福田 晃悦 議員

福田 本町では、かなりの年月が経過し、改修、改築を必要としている公共施設が複数ある。高度成長期に集中的に整備された公共施設は、一気に更新時期を迎え、財政の重荷になることが予想される。

とくに、さまざまな行事やイベントで利用頻度が高い体育施設については、改修すべきものは計画をもって取りかかるべきと思うが、町長の考えは。



改修が行われた総合武道館

体育施設の改修計画は 計画的に実施する 町長

町長 現在、老朽化した施設の更新や統廃合、長寿命化対策などを実施していくため、「志賀町公共施設等総合管理計画」を策定している。

今後は、優先度の高いものから計画的に更新や統廃合、長寿命化対策を実施していきたい。

志賀高校にスクールバスの運用を

現在のところ考えていない 町長

福田 志賀高校の大きな課題として挙げられるのは、生徒の足の問題である。

志賀高校存続のため、地元の高校へ通学しようとする子どもたちの背中を支えるためにも、志賀高校でスクールバスの運用を検討すべきである。

町長 本町では、志賀高校のバス通学の生徒に月額5千円を上限として補助金を交付し、バスの乗り継ぎが困難な地域の生徒には、貸切バスを運行することで支援を行っている。

スクールバスを運行すると、経路が多岐にわたり、多額の経費を要することや、生徒が民間バスに乗らないことで、既存の路線が廃止となるおそれもあることから、現在のところ考えていない。



創立8年をむかえた志賀高校



中谷 松助 議員

合併協定による下水道料金の改定に反対

合併協定どおり改定したい

まち整備課長

中谷 合併協定により、来年度から志賀地域の下水道料金と下水道分担金を富来地域にあわせて改定することになっている。そうなると、下水道料金は一般的な家庭で約2倍、分担金は20万円から30万円に跳ね上がり、町民の老後への不安、また、子育て中の一番水を使う世帯への痛打となる。

まち整備課長 本町の財政は黒字である。そこで、志賀地域の値上げは中止して、逆に、高いほうの富来地域を値下げすべきである。

まち整備課長 平成28年度は、一般会計から下水道会計へ繰入金として6億2400万円を補てんしている。

今後、施設の老朽化による設備更新が必要となる一方で、使用量の減による収入減少も見込まれ、繰入金はますます増加することが懸念されることから、合併協定どおりの内容で改定したい。

右折の矢印信号を設置せよ

警察に調査を依頼

環境安全課長



堀松交差点の朝の通行状況

中谷 国道249号線の堀松交差点は、朝の通勤時に富来方面から高浜町方面へ向かう際、西山インター方面から中核工業団地等に向かう車の列により、右折が非常に困難である。

右折の矢印信号の設置を求める。

環境安全課長 羽咋警察署に、朝夕の通勤時の車両の通行状況等について調査を依頼した。

また、町交通安全協会主催の道路診断の場で、有効な対策を要請したい。

その他の質問

中谷 子ども医療費窓口無料化の導入を求める。

住民課長 導入しない。

中谷 病児保育の実施を求める。

住民課長 現状は難しい。

中谷 地区掲示板の新設や補修に対する助成制度を設けてほしい。

総務課長 検討したい。

中谷 大型風力発電の建設は、地元の理解をもらって行うよう業者に求めよ。

町長 求めている。

中谷 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステムを活用する考えは、

町長 考えていない。



堂下 健一 議員

健康づくり事業の方向性は 推進していきたい

健康福祉課長

堂下 志賀町健康づくり事業では、金沢大学の大学院と連携協定を結び、町民の乳幼児から高齢者までの検診データを分析し、町民の健康づくりをサポートしている。

健康福祉課長 志賀町健康づくり事業は、平成23年度から始まっており、東増穂、堀松、富来、土田の4地区がモデル地区となっている。本事業は、地域包括ケアシステムを確立する上でも重要であることから、今後も金沢大学と連携・協力し、住民の健康づくりに努めていきたい。

※地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続することができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムです。

福島原発事故の記録誌から学べ 職員間の情報共有を行う

町長

堂下 福島原発事故により全町避難を余儀なくされた福島県大熊町が発行した記録誌を手に入れた。原発立地自治体がまとめた被害の報告だけに貴重な報告書であり、この貴重な報告書から学ばない手はない。

町長 大熊町のホームページに記録誌がアップされていたので、全職員に閲覧をすすめた。今後もこのような取り組みを通して、職員間の情報共有を行い、防災意識の高揚を図っていきたい。また、被災地の視察については、以前、視察をしてから3年半が経過しており、この間の復興への取り組みについて、この目で確認したいという気持ちもある。機会があれば視察をしたい。



貴重な体験をまとめた記録誌

タウンミーティングの開催方法を検討せよ

検討していきたい 町長



南 正紀 議員

南 町長は、8年前の就任以来、タウンミーティングや町長談話室などで多くの住民の声を聴き、町政に反映させてきた。より多くの意見を聴取するためにも、タウンミーティングの開催方法を検討するなど、新たな仕掛けが必要な時期に来ているのではないか。

また、ICTを積極的に活用した相互発信型の意見聴取もさらに拡充すべきではないか。

町長 タウンミーティングについては、全町民を対象に全地区に出向いて開催すべきとの声もあるが、地区を回っても若い方や女性の参加が少なく、出される意見・要望が同じ内容となっている状況も見受けられる。どのような開催方法がよいのか検討していきたい。

相互発信型の意見聴取については、ホームページを活用した意見聴取を継続していきたい。

志賀原発の再稼働に対する考えは

今は議論すべき段階ではない 町長



運転停止中の志賀原子力発電所

南 企業誘致には安価な電力供給が決め手となることから、地元経済にも大きく寄与してきた志賀原発との共存関係は維持すべきである。

これまで町長は、再稼働に対して明言を避けてきたが、いずれ決断の時期が来る。志賀原発再稼働に対する町長の考えは。

町長 現時点では、再稼働について議論すべき段階ではないと考えている。

北陸電力には、早急に新規制基準への適合性審査に合格するよう取り組んでもらいたい。

その他の質問

南 今年6月の集中豪雨で、宿女地区、福野地区において前川の氾濫が発生し、一部で被害が発生した。

この河川は過去にもたびたび同様の事象が発生しており、対策が必要である。県に対して、浚渫、あるいは護岸の嵩上げ等を強く要望すべき。

まち整備課長 前川をはじめ、住宅被害のあった二級河川については、順次、堆積土砂の除去や堤防の嵩上げ工事などを実施することになっている。引き続き、町内全域の二級河川における改修工事や堆積土砂の除去について、県に強く要望していきたい。

自転車活用推進計画の策定は

国・県の状況をみて対応する

町長



稲岡 健太郎 議員

稲岡 環境への負荷が小さく、災害時に機動的に動ける特性がある自転車の活用を拡大するため、「自転車活用推進法」が制定された。
本法は、自動車への依存を減らし、渋滞緩和や国民の健康増進など公共の利益につながるとして、自治体に対して推進計画を定めるよう努めることとしているが、本町の方針は。



交流人口の拡大が期待される自転車競技

町長 自転車活用推進法は、本年5月に施行され、国土交通省では、平成30年に自転車活用推進計画を策定する予定である。
本町も国・県の状況をみながら対応したい。

公共建築物の木造化の現状は

木材利用に努める

農林水産課長

稲岡 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」は、荒廃が進み、森林の持つ多面的機能が低下している現状を克服するために、木を使い、森を育て、林業を再生することがねらいである。
本町での公共建築物における木材の利用現状と今後の方針は。

農林水産課長 本町では、木材のさらなる利用促進を図るため、平成24年3月に、志賀町内の公共建築物・公共土木工事等における木材利用方針を策定し、可能な限り木材の使用に配慮するよう周知している。
志賀小学校の内装に県産材を使用しているほか、(仮称)ますほ住宅の単身者棟については、木造平屋建てとなっている。
今後も公共施設の整備はもとより、施設改修や備品などにもできるだけ木材を利用していきたい。



木材が使われ温かみのある志賀小学校

議会活性化の参考とするため、7月27日と28日に群馬県みなかみ町議会、群馬県大泉町議会、長野県軽井沢町議会を視察しました。

議会運営委員会

委員長 田中 正文 委員 富澤 軒康
副委員長 櫻井 俊一 // 林 一夫
// 戸坂忠寸計

みなかみ町議会

議員報酬

報酬額は、「町の規模にあった報酬」、「議員活動に見合った報酬」、「議員立候補の意識が生まれる報酬」を念頭に協議され、月額27万円に引き上げられました。そのあと行われた選挙では、議員定数18に対して21人が立候補する結果となりました。

子ども議会

子ども議会は、子どもの故郷への関心や郷土愛を育むことにつながります。

大泉町議会

議会報告会

議会報告会は、住民が日頃から思っていることや、住民からの提言を聞くなど、意見交換を中心に行っています。

説明にはパソコンを使用して、視覚的に理解しやすいように工夫しています。また、報告会終了後にはアンケートを実施し、次回の参考としています。

政務活動費

政務活動費は、年額15万円を交付しています。議員ごとの使用状況は、ホームページで公表するなど、情報の公開にも努めています。

会派制

会派制の本来の目的は「政策集団」であり、人事目的では長続きはしない。会派制をとるにはしっかりとした目的を持って設置すべきです。

軽井沢町議会

住民懇談会

住民懇談会は、町民の意見やアイデアを持ち帰り、それを町政に反映できる機会となります。

機の配置を参加者の顔が見えるよう口の字型にして、積極的に意見が言えるように工夫しています。

通年議会

通年議会は、町長が長い会期で議会を招集し、その期間、随時議会主導で会議を開くものです。

これにより、議員が役場に用務で来る際には公務災害補償が適用されます。

視察を終えて

昨今、議員の成り手不足が顕著化し、議員の質が低下するといった悪循環に陥っているように感じます。議員定数の削減という考え方もある中で、「議員定数の削減は、むしろ議員のハードルを上げることになり、ますます新人が出なくなる。」という言葉が印象に残りました。

議会広報特別委員会

委員長 寺井 強 委員 稲岡健太郎
副委員長 福田 晃悦 // 南 正紀
// 富澤 軒康
// 櫻井 俊一

議会だよりの編集技術の向上を図るため、7月12日と13日に、全国町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞した鳥取県大山町議会と、奨励賞を受賞した兵庫県佐用町議会を視察しました。

8月29日には、石川県町村議会議長会広報研修会に参加しました。

大山町議会

『議会だより・だいせん』の完成度は高く、写真の見せ方、見出しのインパクト、余白の使い方など大変参考になります。

各委員は、普段からカメラを持ち歩き、町内の行事などを取材しており、その行動力には感服しました。

佐用町議会

『議会だより・さよう』は、読者を意識した読みやすい誌面が特徴です。

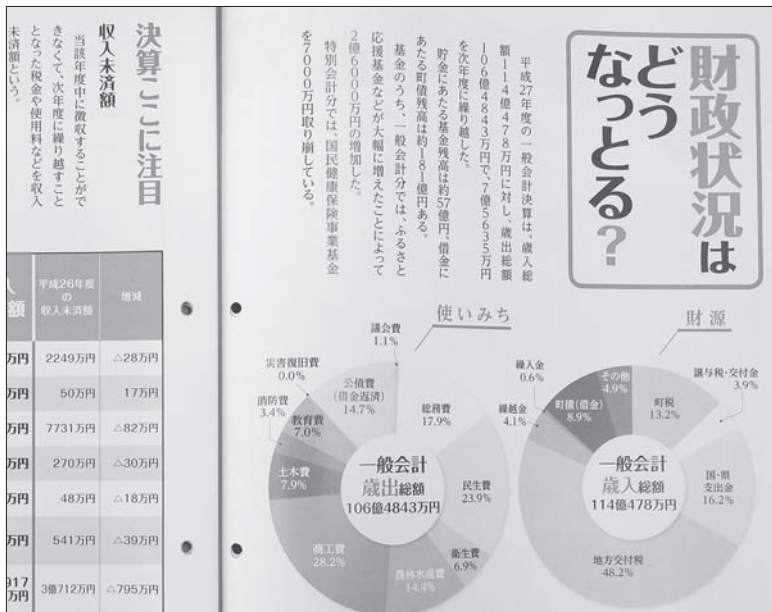
各委員が役割分担により写真撮影や資料収集を行っています。大山町議会と同様に、編集作業に大変な時間を費やしていることに驚きました。

石川県町村議会議長会広報研修会

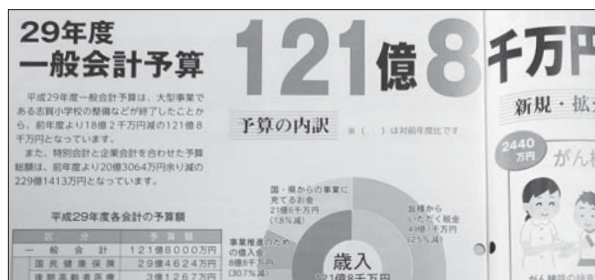
『議会だより・しか』の誌面について、専門家に診断してもらいました。

専門家からは、「読者の注意をひくような見出しの付け方を勉強したほうがよい。」とアドバイスをもらいました。

本研修で学んだ編集技術を活かして、「分かりやすさ」、「読みやすさ」を意識した、住民に読んでもらえる広報誌を目指します。



完成度の高さは全国屈指『議会だより・だいせん』の誌面



構成に工夫が必要『議会だより・しか』の誌面

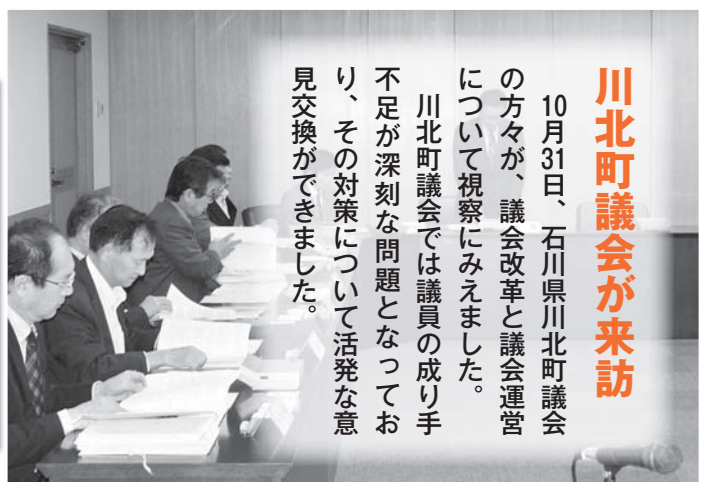
視察を受け入れました

長崎県町村議会議長会が来訪

議長会が来訪

11月1日、長崎県町村議会議長会の方々が、議会活性化の取り組みと定住支援対策について視察にみえました。

志賀町では、人口減少問題に取り組むため、定住対策特別委員会を設置し、その対策について協議してきており、定住対策は全国的な問題であることから、お互いに有意義な意見交換となりました。



川北町議会が来訪

10月31日、石川県川北町議会の方々が、議会改革と議会運営について視察にみえました。

川北町議会では議員の成り手不足が深刻な問題となっており、その対策について活発な意見交換ができました。

国のエネルギー政策は…

原子力発電所対策特別委員会

委員長 林 一夫
副委員長 富澤 軒康
委員は、議長をのぞく全議員です。



経済産業省から講師を招いて研修

8月10日、我が国のエネルギー政策の課題と展望について、研修会を開きました。

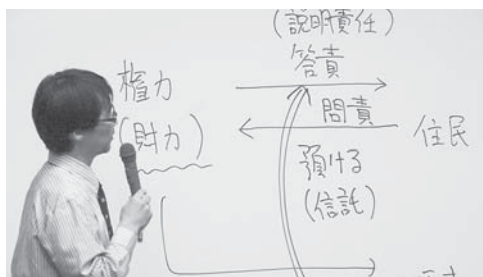
国の政策は、一部の原発を再稼働させ、再生可能エネルギーと組み合わせることで、電力の安定供給、経済効率、温暖化対策を図るというものです。

この研修で、省エネの必要性を再認識しました。

予算決算常任委員会

委員長 南 正紀
副委員長 寺井 強
委員は、議長をのぞく全議員です。

決算審査の着眼点を学ぶ



東京大学大学院から講師を招いて研修

9月19日、決算審査に備えて、議会における予算・決算審査の着眼点について研修会を開きました。

決算審査は、単に数字だけ見るのではなく、事業内容を把握し、その成果についても確認することが必要になります。

それには、普段から住民の声に耳を傾けることが必要だと感じました。



業者からタブレット端末の操作方法を習う

議会改革調査特別委員会

委員長 富澤 軒康 委員 稲岡健太郎
副委員長 南 正紀 // 堂下 健一
// 林 一夫
// 戸坂忠寸計

タブレット端末に挑戦

10月19日、タブレット端末の導入について調査するため、操作方法の講習会を開きました。

議員がタブレット端末を使うことで、ペーパーレス化や議会運営の効率化が期待できます。

今後の調査として、先進地の視察も行ってみたいと思います。

羽咋郡議長会

7月19日、宝達志水町議会と合同で、羽咋郡市広域圏事務組合の「第2埋立処分場」を見学しました。

大雨対策として、大量の貯留水槽を備えており、漏水対策として、遮水シートが二重構造になっています。

埋立期間は22年間ですが、施設の延命化を図るには、ごみの分別を徹底し、埋立ごみを減らす努力が必要だと感じました。

次に、今年7月にオープンした「道の駅のと千里浜」を見学しました。

施設内は、地場産業の振興や雇用創出を図るため、たくさんのオリジナル商品が販売されており、楽しめる施設でした。



新しく建設された第2埋立処分場を見学（羽咋市柴垣町地内）

埋立処分場が完成 ごみの減量化を

石川県町村議会議長会



県内の町議会議員が集結した講演会

政局の行方は

8月9日、津幡町文化会館で『日本の政局・政治の行方』と題した講演会が開かれました。

講演では、北方領土問題や北朝鮮問題、安倍内閣のウラ話など普段は聞けないような話を聞くことができました。

中央政界や経済の情報を収集することで、議会人としての質の向上を図るとともに、今後の政局の行方にも注目していきたいと思えます。

議会全員協議会

日本一健康な町を 目指して

7月21日、金沢大学から講師を招いて、志賀町健康づくり推進事業について研修を行いました。

本事業は、志賀町と金沢大学が連携して行っており、日本一健康な町を目指しています。

富来鉱山を見学

9月14日、富来生神地内にある富来鉱山を見学しました。

坑道は狭く、側壁が崩壊した跡もありました。今後、町が行う調査結果に注目したいと思います。



約90mにわたる富来鉱山の坑道

志賀町 ホッケー教室

ホッケーが大好きな小学生で結成する「志賀町ホッケー教室」を訪ね、お話を聞きました。

ホッケーを普及させたい



代表 戸野 陽介さん

◆発足の経緯は

◇昭和57年にホッケー競技が初めて志賀町（旧富来町）に導入され、富来高校を中心に普及が始まり、徐々に小中学生へのホッケー指導も行われるようになりました。
当初は、町内の小学校に向いて指導を行っていましたが、活動場所を富来健民ホッケー場に移し、平成元年に「ホッケースポーツ少年団」として登録したのがきっかけで、発足しました。

◆普段の活動は

◇町内の小学2年生から6年生の男女で、合計12名が登録しています。
練習は、毎週水曜日の午後6時半から8時を基本とし、富来健民ホッケー場や富来中学校体育館で行っています。



メンバー不足で公式大会には参加できません（過去の写真）

◆過去成績・今後の目標

◇西日本大会3位入賞や全国大会3位入賞などの実績があります。
まずは、「ホッケー競技の普及」という原点に戻り、「ホッケーを知ってもらい、ホッケーを楽しんでもらい、ホッケーを好きになってもらう」という目標からスタートし、競技人口を増やしていきたいです。

◆最後に一言

◇近年、ホッケー競技は、東京オリンピックの開催に向けて強化・活性化が行われています。
小学生からマスターズまで一緒に楽しめるスポーツです。常時、新メンバーを募集していますので、興味のある方は見学に来てください。



いっしょにホッケーをやりませんか

お知らせ

12月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

11/28 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
12/5 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
12/12 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者
議長 南 政夫
副委員長 寺井 強
委員 福田 晃悦
稲岡健太郎
南 正紀
富澤 軒康
櫻井 俊一

議会広報特別委員会
委員 寺井 強
副委員長 福田 晃悦
委員 稲岡健太郎
南 正紀
富澤 軒康
櫻井 俊一